



いま、日本にほんでとれる魚さかなにはどんなものがあるの

いろいろな魚さかながとれる日本にほん近海きんかい

日本は海うみに囲まれた島国かこで、日本の周りしまくにの海まわは、南うみから黒潮みなみ（暖流くろしお）が北上だんりゅうし、北ほくじょうからは親潮きた（寒流おやしお）が南下かんりゅうし、豊かな漁場なんかになっています。

このような条件じょうけんに恵まれた日本にほんの近海きんかいは、世界せかい3大漁場だいぎょじょうの一つにかぞえられ、季節きせつごとにいろいろな魚さかながとれます。漁獲量ぎょかくりょうをみると、中国ちゅうごく、ペルー、チリについて、世界せかい第4位だいで、1995年には、676万トンまんの水あげがありました。

1996年の日本にほんの魚種別ぎょしゅべつ漁獲量ぎょかくりょうは、魚類ぎょるい、その他の動物ほか どうぶつ、貝類かい、海藻類かいそうるいをすべて入れて、597万トンまんでした。魚類ぎょるいの内訳うちわけをみると、イワシ類いが77.3万トンまんで最も多く、ついでサバ類さばるい（76.0万トンまん）、タラ類たらるい（38.9万トンまん）、アジ類あじるい（38.8万トンまん）、サケ・マス類さけ（31.9万トンまん）、カツオ類かつお（29.5万トンまん）、マグロ類まぐろ（28.1万トンまん）、サンマさんま（22.9万トンまん）、ホッケほっけ（18.2万トンまん）などの順じゆんです。

そのほか、ニシンにしん、ブリ類ぶり、ヒラメひらめ・カレイ類かれい、タチウオたちうお、タイ類たいなどがとれます。

おもな漁港ぎょこうと水あげ量みず りょう

1996年のおもな漁港ぎょこうと水あげ量みず りょうは、鳥取県境とっとりけんさかい（境港さかいみなと、25.6万トンまん）、青森県あおもりけん八戸はちのへ（24.1万トンまん）、千葉県銚子ちばけんちょうし（20.9万トンまん）、静岡県焼津しずおかけんやいづ（20.8万トンまん）、北海道釧路ほっかいどうくしろ（17.8万トンまん）、宮城県石巻みやぎけんいしのまき（15.0万トンまん）、長崎県松浦ながさきけんまつうら（14.9万トンまん）、北海道稚内ほっかいどうわっかない（12.4万トンまん）、長崎県長崎ながさきけんながさき（10.8万トンまん）でした。

（監修・保岡 孝之）

